

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年1月23日

【評価実施概要】

事業所番号	0175800200		
法人名	有限会社 福音の家		
事業所名	グループホーム 福音の家		
所在地	空知郡南幌町元町4丁目3番14号 (電話) 011-378-1078		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成21年1月21日	評価確定日	平成21年3月13日

【情報提供票より】 (20年12月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成12年9月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	9人	常勤	7人, 非常勤 2人, 常勤換算 7.0人

(2) 建物概要

建物構造	木造モルタルおよびサイディング 造り		
	2階建ての	1~2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000円	その他の経費(月額)	光熱水費 16,000円 暖房費(10~4月) 7,000円
敷金	有()円・ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		

(4) 利用者の概要(12月10日現在)

利用者人数	6名	男性	4名	女性	2名
要介護1	2名	要介護2	0名		
要介護3	1名	要介護4	2名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 72歳	最低	46歳	最高	98歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人やわらぎ みどりの医院、町立長沼病院、野幌歯科、町立南幌病院他
---------	-------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

キリスト教の愛と奉仕の教えの基、信者と一般を対象にしたグループホームです。利用者が何を考え望んでいるかを、いち早く察しケアサービスを実践する職員の感性はさらに磨きかけられています。地域の方々との交流も自然体で、これもホーム一丸となり、ここで暮らして行くのだとの強い思い入れの為せる現れと推察しました。利用者間の結束は強く、家族としての強い絆となっています。「その輪の中に、私は入っていけないんですよ」と、笑顔で話されるホーム長からは、誇らしさが伝わってきました。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 改善項目のヒヤリハット・事故報告書の整備、運営推進会議での議題の拡大、自己評価の職員全員での取り組みについては、改善が見られましたが、理念の中での地域との関連性の表示は、具体的な文章化を期待します。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の改善点を踏まえ評価の意義を再認識するための内部研修を行ない、職員全員の意見を集約し纏め上げています。その中で、気づき、改善点は、今後の課題としています。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>行政担当者、町内会長、民生委員、老人クラブ代表、家族代表の構成メンバーにより、2ヵ月に1回開催され、ホームの現状報告に加え、自己・外部評価での改善点など、運営に向けての意見交換が行なわれています。</p>
重点項目②	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>利用開始時に、利用者や家族からアンケートで意見・要望を把握しています。家族の来訪時や遠隔地への家庭訪問時、また、運営推進会議の中で意見・要望を情報収集し、改善に向けて取り組んでいます。</p>
重点項目③	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>職員や利用者は一丸となって、地域との繋がりの強化に努め、現在では、近隣の小学校の学芸会や運動会の見学、中学校の体験学習の受け入れ、町内会やホーム行事の相互参加など、地域の方々との交流が自然体で行なわれています。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「人権、尊重、安心、おだやかな生活」を基本理念とし、それに加え、利用者、家族および地域社会への貢献と奉仕を目標に掲げています。	○	これまでの理念、目標に加え、地域との繋がりを盛り込んだ内容の文章化への取り組みを期待します。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員全員は、理念の意義を十分理解し、日々のケアサービスにおいて、理念の確認・実践を繰り返し行なっています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	職員や利用者は一丸となって地域との繋がりの強化に努め、現在では、近隣の小学校の学芸会や運動会の見学、中学校の体験学習の受け入れ、町内会やホーム行事の相互参加など、地域の方々との交流が自然体で行なわれています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	内部研修で、自己・外部評価の意義を再認識し、前回の改善項目や自己評価での、新たな気づきや改善点を今後の課題とし、運営に活かす取り組みが行なわれています。		

南幌町 グループホーム 福音の家

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行政担当者、町内会長、民生委員、老人クラブ代表、家族代表の構成メンバーにより、2ヵ月に1回開催され、ホームの現状報告に加え、自己・外部評価での改善点など、運営に向けての意見交換が行なわれています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政担当者とは、頻繁に情報交換を行ない、サービスの質の向上に繋がる助言や指導を受け、連携を深めています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホームの活動状況は、毎月発行の「かわら版」で伝え、また利用者の日常生活や金銭出納も報告しています。さらに、来訪時やホームからの家庭訪問、電話などで、近況報告を詳細に説明しており、家族の安心に繋がっています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用開始時に、利用者や家族からアンケートで意見・要望を把握しています。家族の来訪時や遠隔地への家庭訪問時、また、運営推進会議の中で意見・要望を情報収集し、改善に向けて取り組んでいます。第三者相談窓口も伝えています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	離職については、職員と話し合いを重ね解決策を講じていますが、止むを得ず離職が発生した場合は、ホーム内に住んでいるホーム長（運営者）、管理者が、利用者の不安を取り除く配慮をしています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は職員のレベルアップに向け、研修の機会を確保し、段階的な育成を図っています。内部研修は課題に即して、その都度行ない、外部研修は職務としての参加や、自主的参加は費用負担し、研修内容は職員全員の共有になっています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域福祉ネットワーク（南幌、栗山、長沼、由仁）との交流や、南幌町内3カ所のグループホーム合同研修での交流を通じ、管理者、職員は自己研鑽に努めています。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	病院からの入居が殆どであり、事前に家族や病院関係者から情報を収集し、センター方式で、利用者や家族の意向を把握して、ゆっくりとホームの生活に馴染めるよう配慮しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者同士が家族の関係を築き上げており、その中で、職員は応援団として共に喜びや不安を分かちあっています。利用者と職員は、共に感謝の言葉をシャワーのように降り注いでいます。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの希望や、意向の把握は、ケアプランや、詳細な個人別記録を参考に、目線、仕草などのサインを見逃さず、思いを汲み取っています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員全員で、利用者一人ひとりに合った介護計画になるよう、会議の中で意見交換を重ね、家族の意見も取り入れ作成しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	基本的な見直しは6ヵ月毎ですが、職員は利用者一人ひとりの心身の状態を把握し、変化が発生した場合は、その都度関係者と話し合い、状況に合った介護計画を作成しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	受診・買物・理容室への同行、家族の宿泊支援、さらに利用者と一緒に家庭訪問や、遠方の元の職場訪問など、利用者や家族の意向に沿って、柔軟な支援をしています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用以前のかかりつけ医の受診や、24時間対応の協力医療機関による、月2回の往診、さらに週1回の歯科往診で、適切な健康管理が行なわれています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族とは入居時に、重度化や終末期に向けた方針を説明し、同意をいただいています。看取りについても、ホームとして、できる最大のケアサービスを提供する取り組みをしています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの生活歴から性格・趣味などを把握し、誇りやプライバシーの尊重に努めています。個人情報の取り扱いも、適切に行なわれています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者が、その日をどのように過ごしたいのかを、体調や言動から推し量り、利用者の希望に沿って支援しています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の状況に応じ、食材選び、調理、後片付けなど、一緒に行なっています。美味しくいただくために、嚥下体操などを取り入れ、嚥下能力に合わせた食事の形態にしています。持てる力での利用者同士のサポート、職員のさり気ない介助のもと、笑い声や会話が行き交い「日だまり」のような、食事風景でした。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	月・木曜日を入浴日としていますが、利用者の希望により、自由に入浴出来る支援をしています。浴槽は既製のユニットバスでなく、長年の介護経験者からの助言により、安全面に配慮した浴槽が設置されています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの得意分野を活かし、畑作業、洗濯物畳み、ビニール袋畳み、手芸、調理、おやつ作り、雪捨てなど、自然に役割ができています。利用者の満足感に繋がる支援が行なわれています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の意向に沿って、ホーム周辺の散歩、買物、ドライブなどの支援をしています。ホーム敷地内でのバーベキューや外出行事は、全員で参加し、花見見物、南幌温泉、外食など、利用者にとって大きな楽しみごとになっています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	防犯上、夜間のみ施錠していますが、日中は職員の見守りのもと、利用者は自由に外出しています。不意の外出は近所の方々や、SOSネットワークにも協力をいただいています。		

南幌町 グループホーム 福音の家

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策として、日中・夜間想定避難訓練を、利用者参加で行なっています。職員各自がリーダーになり、いろいろな場面を想定して、繰り返し避難訓練を実施しています。地域の方々の協力もいただいています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	病院・保健センターの栄養士から助言をいただき、1,600カロリーを基本に、利用者の好みを取り入れ、食欲をそそる献立になっています。食事・水分摂取量は、職員全員が共有し、状況により、特別食や補助食品を提供しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間のガラス越しから入る陽射しを受けながら、利用者は思い思いの場所で、寛いでいました。窓から見える中庭には、季節の花々が利用者を和ませています。二階の廊下には、壁面に折り畳みカウンターを設置し、多目的に利用されています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の殆どが、病院からの入居のため、ベットや調度品は、一人ひとりに合った物を、ホームが用意しています。その中で、写真や趣味のものを飾り、自分の部屋として、居心地よく暮らせるよう配慮されています。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。